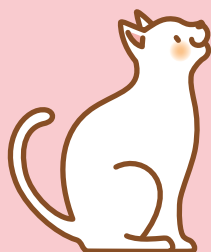
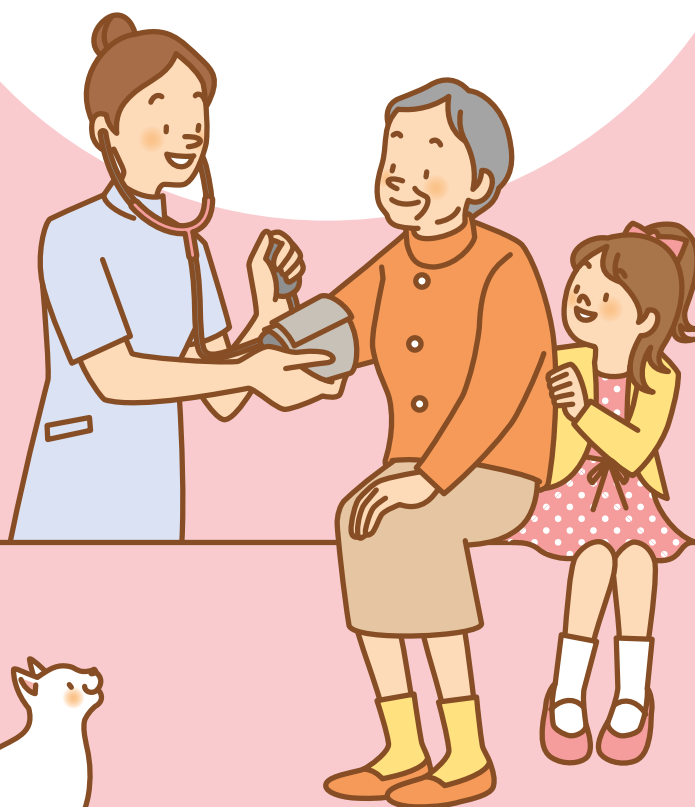


笑顔とやさしさで  
ぬくもりある看護を  
お届けします

いつもあなたのそばに訪問看護





### 療養生活の相談

悩み・不安・看護・  
介護方法・住宅に関する  
ことなどの相談

## 訪問看護の役割

訪問看護とは、お住まいを訪問し、療養生活を送っている方の看護を行うサービスです。

ご本人やご家族の意思・生活を尊重し、安心して生活できるよう予防から看取りまで支えます。

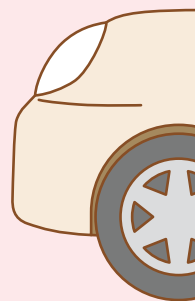


### ターミナル（終末期）ケア

痛みの緩和・精神的援助・  
看取り

### 日常生活の看護

入浴・清拭・洗髪・  
食事・排泄の介助



健康状態の観察  
疾病の予防・  
悪化防止の支援

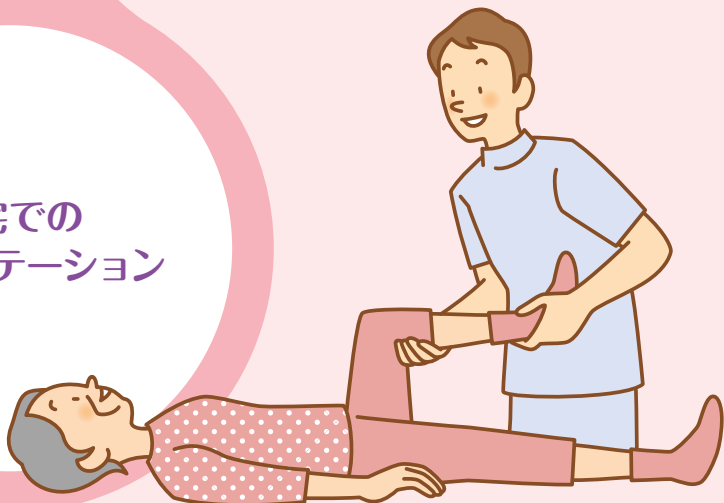


かかりつけ医の  
指示による  
医療処置・管理

カテーテル・呼吸器・  
在宅酸素・創処置・点滴 等



自宅での  
リハビリテーション

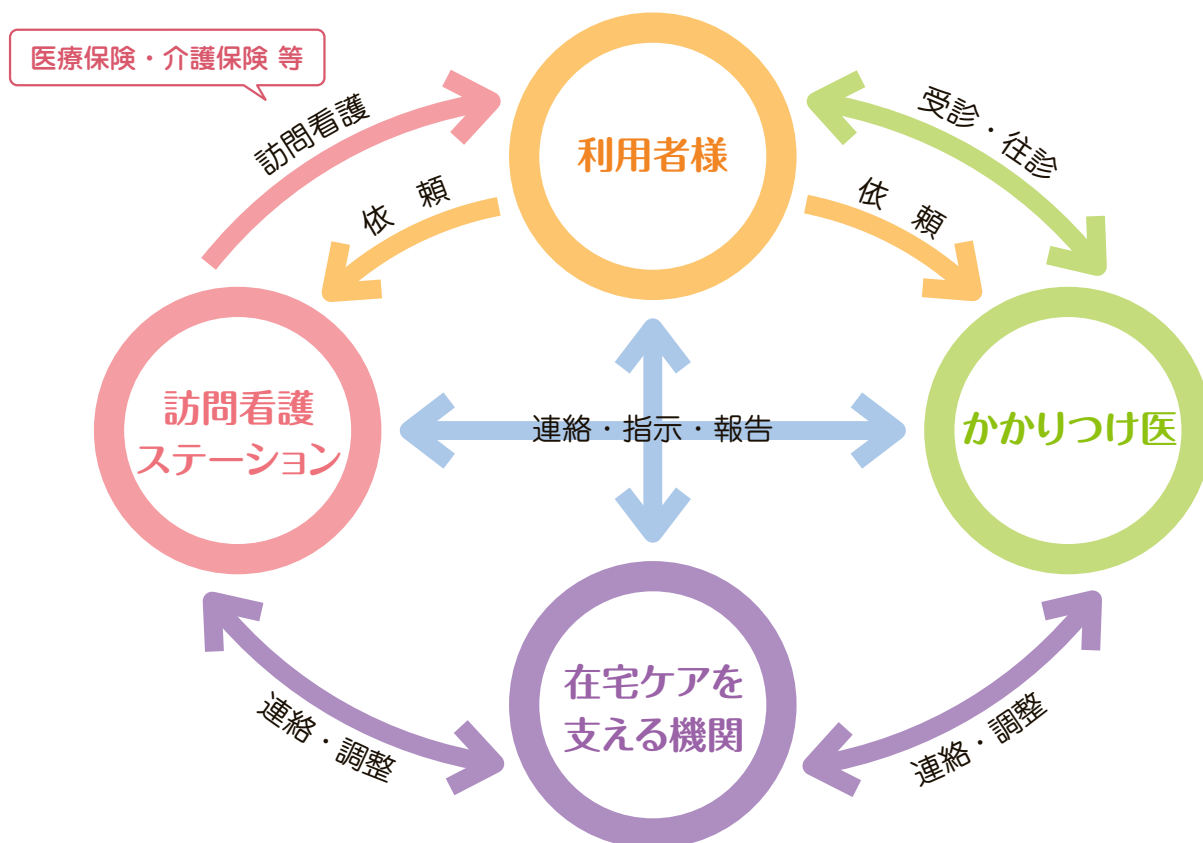


薬の管理・  
症状に対する対応  
療養上の事故防止  
などの助言



# 訪問看護サービスのシステム

訪問看護は、小児から高齢者までのあらゆる疾患の方々やご家族に対し、関係機関と連携をとりながら、在宅での生活を支えます。



## 訪問看護 Q&A ーよくある質問ー

### Q1 訪問看護はどんなときに利用できるの？

**A1**

在宅療養中の方はもちろん、次のような場合にも利用できます。

- 医療機関や施設から退院・退所をすすめられたが、家での生活に不安があるとき
- 退院・退所をしたばかりで、在宅療養生活に慣れないとき
- グループホームなどの施設に入居中で医療処置を必要とするとき

など、いろいろな場面に応じて、主治医と連携をとりながら必要な看護サービスを提供します。

### Q2 訪問看護はだれが利用できるの？

**A2**

病気やけがをされた方、障害をお持ちの方など、主治医が訪問看護の必要を認めた小児から高齢者まで、すべての方が利用できます。

### Q3 訪問看護はだれが来てくれるの？

**A3**

看護師もしくは、保健師が訪問します。リハビリテーションのために、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が訪問することができます。

### Q4 どうすれば訪問看護を利用できるの？

**A4**

医師・看護師やケアマネジャー、または『訪問看護コールセンターおかやま (TEL/086-238-7577)』へご相談ください。

必要な手続きや、訪問看護で対応できる内容、利用料金等の詳細についての説明が受けられます。

# おうちでの療養生活を 訪問看護が支えます

1対1で本人の思いに  
そってお世話をしてくれるの  
で、安心してお任せしています。  
夫の硬かった表情がとてもよくな  
ってきたのも、訪問看護師さ  
んが来られているおかげだ  
と思います。

訪問看護  
利用者家族

訪問看護師にチーム  
に加わってもらうと、病状の  
管理をはじめ、医師との連絡、  
家族指導や、適切なアドバイ  
スをしてもらえるので、利用者  
の療養支援に関わるうえで  
役に立ちます。

訪問看護利用者

在宅を希望する家族の  
ためには、本当にありがたい  
です。看護師さんが来られて、日々  
一緒に家族のように話ができて、些  
細な話でも一つ一つ受け止めてくだ  
さるのが、とてもうれしかったです。  
主人と一緒に家で過ごせること  
に感謝です。

余命が短いと思って、  
自宅に退院された患者さん  
が、訪問看護を利用することで、  
住み慣れたご自宅で最期まで安心  
して過ごすことができました。  
これも一重に訪問看護師さんの  
関わりがよかったからだ  
と思います。

ケアマネジャー

病院から在宅療養される時に  
患者さんはとても不安です。不安  
な患者さんを送り出す私たちも不  
安ですが、訪問看護師さんに入っ  
ていただくと、とても安心で、退院後  
の様子も教えていただけ、連携も  
とりやすいです。

医師

「あなたの顔を見ると  
元気が出る。今度いつ来てくれ  
るの?」「あなたが来てくれるから、  
私を生かしてくれる」と言われ、訪問  
看護の仕事が続けていてよかったと  
思いました。  
自分が利用者様のお役に立て  
ることがうれしいです。

病院  
ソーシャルワーカー

訪問看護師



# 訪問看護の活用例

## 訪問看護の利用により母を在宅で看取った事例

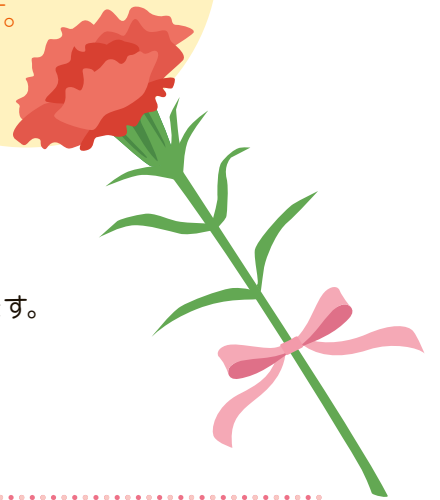
### 利用者様のご家族（長女）より

訪問看護師さんが来てくれるまで、家族はバラバラでした。父はなれない家事に戸惑い、病気の母を気遣う余裕はありません。私もどうしていいかわからず、困っていました。

訪問看護師さんは外から風が入ったように家族の絆を取り持ってくれ、家族が再生したのです。母は訪問に来てくれるのをすごく喜んで支えにしていました。最期まで見てあげられたのは訪問看護師さんの支えがあったからです。緊急時すぐ来てくださる安心感は本当にありがたかったです。

### グリーンケアに行った担当訪問看護師より

最初は涙ながらに話されましたが、終わるころには晴れ晴れとした表情で笑顔になりました。看取りが悔いのないものであったと思われ、ご家族が次のステップに早く進めることができると故人も喜んでくれていると思います。私もご家族（長女）の言葉を聞くことができ、次も頑張ろうと思えました。



## 神経難病の方の訪問看護事例

### 担当訪問看護師より

多系統萎縮症の方がご自宅で療養されていた頃から訪問看護を利用していただいていた。病状が悪化して入院され、人工呼吸器を着けるかどうか選択をせまられたときに、私たちは病院に度々伺いました。「ぜひ自宅で家族と一緒に暮らしたい」という、ご本人・ご家族の気持ちを聴き、人工呼吸器を着けて自宅で過ごす生活がイメージできるように、ご家族と一緒に退院の準備をお手伝いさせていただきました。

退院後は、進行する病状や状態の変化に伴う生活上の困り事に対して、主治医・ケアマネジャーなどと連携して関わっています。ご家族の愛情の深さを日々感じさせてもらいながら、自宅での生活が安心して継続できることを目標に訪問しています。

### 利用者様のご家族より

人工呼吸器を着けることになり退院は無理と言われましたが、家族で楽しく過ごした思い出が忘れられず在宅での療養を考えていました。

そのとき、訪問看護師さんから「大丈夫、できるよ」と励ましの言葉をもらい決心が固まりました。

日ごとに状態が異なり戸惑う毎日ですが、その都度相談して過ごし、気がつけば無事に3年が過ぎようとしています。



## 小児の訪問看護の事例

### 担当訪問看護師より

気管軟化症で気管切開、経管栄養をしている小児への訪問看護を行っています。訪問時には健康観察を行い、症状が悪化したときには、医師への相談方法を母にアドバイスし、安心して療養が継続できるように支援しています。沐浴時には母が行う気管カニューレの交換を、体を支えて安全にできるようにしたり、皮膚トラブルの観察もしています。経管栄養から離乳食に移行する時には内容や進め方なども相談を受けながら進めていきました。成長が著しい時期なので一緒に遊びながら発達を促すとともにコミュニケーションの方法を考えていきました。

小児の訪問看護は子どもの体調の悪化が急激なので看護師も小さなことを見逃さないように神経を使いますが、ご家族とともに成長を見守らせていただく喜びもたくさんあります。

### お母様より

ゆっくりと時間をかけて日頃の子どもの様子を聞いて、不安や疑問を解消してくれる医療従事者はほかにいないので安心だし、話を聞いてもらえるだけでも落ち着きました。

子どもも家族以外の人との接触は良い刺激だったようで看護師さんに会えるのを楽しみにしており、帰りは名残惜しそうに引き止めることもあります。



## 精神訪問看護の事例

### 担当訪問看護師より

かつて教員をされており職場のパワハラから「うつ病」「難病」となり退職された方の訪問看護を行っていました。退職後は障がい者として差別を感じながら職を転々として今の職場へと変わられました。今は支援者の支えもあり、介護福祉士の試験を受けるために頑張っておられます。訪問看護師はテキストと一緒に勉強し、実技のアドバイスもしています。

元々は、うつ病を患っている奥様が訪問看護を利用されていましたが、奥様が訪問看護を利用されるにつれ笑顔が出始め、明るくなっていく様子を見て、自分も来てもらいたいと希望されたのが訪問の始まりです。今では夫婦ともに満面笑顔で迎えてくださいます。

### 利用者様より

現在、福祉施設で介護職として働いています。職員との間でも業務上でも、いろいろな問題がありストレスが大きいですが、看護師さんの訪問時には、いつも悩みを聞いてもらい、それを支えに現状に負けないでやっています。



# 訪問看護が

“訪問看護”とは、看護師等がお住まいを訪問し、療養生活を送っている方の看護を行うサービスです。

## あなたとあなたの家族を支えます！

こんなことでお困りではありませんか？

ひとり暮らしで不安

離れて暮らしている  
病弱な親が心配

自宅で  
リハビリがしたい

入退院を  
繰り返している

自宅で療養したい

病気があっても  
最期まで自宅で過ごしたい

退院後の  
療養生活が心配

介護・看護の  
知識がなく心配

酸素や点滴を  
している

今受けているサービス  
に不安がある

認知症や心の病気など、  
病気を抱えていて不安

などなど…。

なんでもお気軽にご相談ください！



訪問看護コールセンターおかやま

TEL

086-238-7577

相談時間

火～金曜日 9:00～16:00

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

〒700-0805 岡山市北区兵団4-39 岡山県看護研修センター3階 TEL:086-238-6688